

近畿中部



「近中くん」
 近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
 生年月日：平成 19 年 9 月 1 日（防災の日）
 出身：近畿中部地方
 名前：近中くん（きんちゅうくん）
 職業：徳し業
 宝物：手作りのまが玉札
 趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
 特技：たこ焼き、きしめんの早食い

近中くん

近畿中部防衛局広報誌

2016

3/4月号



陸上自衛隊伊丹駐屯地で行われたさくらフェスタ 2016

目次

航空自衛隊小松基地における米軍再編に係る訓練移転の実施	2
「スカイパークこまつ共生の丘」オープン式典	3
小松市消防本部、消防・救急デジタル無線運用開始式	
潜水艦「じんりゅう」引渡式・自衛艦旗授与式	4
経ヶ岬通信所に関する動き	5
近畿中部防衛施設地方審議会開催	6
近畿中部防衛局からのお知らせ	7
なるほど防衛豆知識「海上自衛隊の潜水艦部隊とは？」	8

航空自衛隊小松基地における米軍再編に係る訓練移転の実施

米軍再編に係る訓練移転（日米共同訓練）が、平成 28 年 3 月 7 日から 18 日までの間、航空自衛隊小松基地で実施されました。

在日米軍の航空機部隊が、自衛隊の飛行場に移動して、自衛隊と共同で訓練を行うものであり、日米間の相互の運用性を向上させ、同時に在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減することを目的としています。

小松基地では 8 回目となる今回の訓練は、米軍岩国基地から F A - 18 戦闘機 6 機が参加して行われました。

当局は、関係地元自治体などと連絡調整や不測の事態に迅速に対処するため、現地対策本部を設置し、職員を派遣して、関係自治体から学校の入学試験や卒業式の予定日時などの情報を収集し、米軍・自衛隊とそのような時間帯を避けて訓練を計画するよう調整を行ったり、騒音状況の把握のため、連日、騒音測定を実施するなどの業務を行いました。

訓練休日の 3 月 12 日には、小松基地の隊員 50 名と米海兵隊の隊員 35 名の有志がボランティア活動として、市内の木場潟公園内を約 1 時間にわたり、投棄されたペットボトルなどのごみを拾い集め、訓練を受け入れている地元への謝意を表しました。

訓練終了後、米軍の飛行隊長グレゴリー・マゲアア中佐は、「今回の訓練で日米双方の部隊の相互運用性を向上させることができた。また、互いの良好な関係をさらに進展させることができた素晴らしい機会となった。」とコメントしました。



米軍岩国基地から飛来した F A - 18 戦闘機



現地対策本部の近畿中部防衛局職員



木場潟公園の清掃の様子



清掃終了後に参加者全員での記念撮影

「スカイパークこまつ共生の丘」オープン式典

平成28年3月19日、小松飛行場周辺地区において当局が公園的施設整備事業として整備した「スカイパークこまつ共生の丘」のオープン記念式典が小松市主催で開催され、和田小松市長、小松市議会、小松基地、近畿中部防衛局の各関係者に加え地元の小学生らが出席し、オープンを祝しました。

本事業は、緑地帯としての周辺財産の積極的な利活用を図り、地元住民の憩いの場として活用できるよう、整備面積2.3ヘクタール内に多目的広場、ベンチ、東屋、便所、駐車場を整備しました。

この公園は、小松空港に隣接しており、同空港から離発着する航空機を近くで鑑賞することができるため、航空機ファンの路上駐車が減り、周辺の住民の皆様の不満が解消されることにも期待がもたれています。また、式典終了後は、参加者による記念植樹が行われました。



全 景 写 真



記念植樹後の集合写真

小松消防本部 消防救急デジタル無線運用開始式

平成28年3月19日、小松飛行場周辺消防施設設置助成事業として実施した消防救急デジタル無線設備が完成し、小松市消防本部において運用開始式が挙行され、和田市長をはじめとする多くの関係者が出席し完成を祝いました。

本事業は、小松飛行場の設置・運用により万一事故等が発生した場合に、これに対処すべく消防力の強化とそれらを効果的に展開させる為の情報統制を迅速かつ適切に行うため従来のアナログ方式からデジタル方式へ整備したものです。

電源装置・無線装置・共用器



本部屋上アンテナ



デジタル無線本体



和田市長によるデモンストレーション

潜水艦「じんりゅう」引渡式・自衛艦旗授与式

平成28年3月7日（月）、三菱重工業株式会社神戸造船所（神戸市兵庫区）において、潜水艦「じんりゅう」の引渡式及び自衛艦旗授与式が関係者約260名の列席の中行われました。

引渡式では、建造を担当した三菱重工業株式会社の水谷代表取締役と、防衛省の若宮防衛副大臣が「引渡書」と「受領書」の授受を行いました。引き続き自衛艦旗授与式が行われ、若宮防衛副大臣から「じんりゅう」艦長梅原2等海佐に「自衛艦旗」が授与されました。自衛艦旗は海上自衛隊東京音楽隊の三宅3等海曹が儀礼曲「海のさきもり」を歌うなか、艦長から副長に手渡されました。



引渡書及び受領書の授受
（若宮副大臣（左）と水谷代表取締役（右））

その後、海上自衛隊呉音楽隊の軍艦行進曲にあわせて、自衛艦旗を捧持（ささげ持つこと）した副長を先頭に乗員が乗艦整列後、艦長が乗艦しました。艦内の視察を行う副大臣が乗艦し準備が整うと、国歌吹奏にあわせて自衛艦旗が艦尾旗竿に掲揚されました。

「じんりゅう」は4年の歳月を要して建造された「そうりゅう型」と呼ばれる最新鋭潜水艦の7番艦であり、長時間の潜航を可能とする大気非依存型推進（AIP）システムを搭載し、水中運動性能が高い「X型」かじを備えています。これにより海上自衛隊の潜水艦は17隻態勢となりました。



自衛艦旗を受領する梅原艦長



儀礼曲「海のさきもり」を歌う三宅3等海曹



自衛艦旗を先頭にして「じんりゅう」に乗艦する乗員



授与された自衛艦旗の初掲揚

米軍経ヶ岬通信所に関する動き

参議院外交防衛委員会視察

参議院外交防衛委員会の佐藤正久委員長ほか委員会メンバー 9 人は、平成 28 年 2 月 15 日から 16 日にかけて、京都府の舞鶴市及び京丹後市を訪れ、海上自衛隊舞鶴基地や米軍経ヶ岬通信所を訪問し、視察を行いました。一行は、15 日に舞鶴市の海上自衛隊舞鶴基地や海上保安庁舞鶴海上保安部を視察した後、16 日は、京丹後市に入り航空自衛隊経ヶ岬分屯基地及び米軍経ヶ岬通信所を視察しました。経ヶ岬通信所では、カルデナス司令官から、T P Y - 2 レーダーに関する説明を受けた後、通信所内に配備された同レーダーを視察しました。一行は、その後、京丹後市役所を訪れ、中山市長を表敬し、懇談を行いました。



航空自衛隊経ヶ岬分屯基地の荣誉礼を受ける佐藤委員長



カルデナス司令官による説明を受ける参議院外交防衛委員会の委員

第7回安全・安心対策連絡会を開催

平成 28 年 3 月 1 日、米軍経ヶ岬通信所の設置に係る第 7 回安全・安心対策連絡会が京丹後市の峰山庁舎において開催されました。

当局から、騒音対策、交通安全、日米交流などに関する取り組み状況について説明しました。

引き続き、カルデナス司令官から、今冬に実施された 2 回の交通安全講習会に、米軍として積極的に参加したことや、米軍音楽隊による演奏会などの企画について紹介がありました。出席者からは、更なる安全運転の徹底や安全安心の確保に向けた取り組みの状況の更なる周知について、率直な意見が出され、有意義な意見交換の場となりました。

当局といたしましては、今後も関係各機関と連携を図りながら、安全・安心の確保に向けて実効性のある取り組みを実施してまいります。

※同連絡会は米軍経ヶ岬通信所の設置に当たり、国、米軍、関係自治体、地域住民代表及び関係機関が連携し、安心・安全なまちづくりの発展に寄与するための取り組みを推進させることを目的として平成 26 年に発足。



カルデナス司令官による説明



連絡会議開催

近畿中部防衛施設地方審議会開催

～航空自衛隊岐阜基地／川崎重工業（株）岐阜工場を見学～

平成 28 年 2 月 26 日（金）、航空自衛隊岐阜基地（航空自衛隊第 2 補給処）において、平成 27 年度近畿中部防衛施設地方審議会が開催されました。

当日は委員及び近畿中部防衛局幹部の紹介の後、会長の選出が行われ、委員の互選により後藤武夫委員（弁護士）が会長に選出されました。会長は就任あいさつの中で、本審議会が重要な責務を担っていること、今回の視察が委員一同の防衛に関する知見を深める上で有意義であることなどに言及されました。

この後、近畿中部防衛局及び東海防衛支局から、本年度における管内での主要業務の概況説明を行いました。



審議会の様子

審議会を終え、委員一同は、川崎重工業株式会社岐阜工場に移動し、海上自衛隊の固定翼哨戒機 P-1 組み立て工場及び航空自衛隊の次期輸送機 C-2 組み立て工場を見学し、当日の日程を終了しました。

なお、審議会の開催に先立ち、委員一同は、航空自衛隊岐阜基地の航空機格納庫において、航空自衛隊の F-15 戦闘機及び F-2 戦闘機を見学しました。



近畿中部防衛局からのお知らせ

米第7艦隊旗艦「ブルーリッジ」大阪港に寄港

米海軍横須賀基地を拠点とする揚陸指揮艦「ブルーリッジ」が、2月24日大阪港に寄港しました。今回の寄港は地元の児童養護施設の訪問や大阪の歴史文化の研修といった親善を目的としたものであり、トモダチ作戦終了後以来3回目の寄港となりました。また、同日行われた艦上レセプションにはグリーンバーグ駐大阪・神戸米国総領事や多くの関係者が出席されました。

※「ブルーリッジ」は日付変更線以西の太平洋とインド洋を担当海域とする第7艦隊の旗艦であり、東日本大震災ではシンガポールから日本へ救援物資を輸送しました。



米第7艦隊旗艦、揚陸指揮艦「ブルーリッジ」



艦上レセプションの様子

陸上自衛隊伊丹駐屯地、「桜フェスタ2016」開催

陸上自衛隊中部方面総監部が所在する伊丹駐屯地において、4月1日（金）から2日（土）伊丹駐屯地創設65周年記念「桜フェスタ2016」が開催されました。

駐屯地内では、隊員によるラッパの演奏や太鼓演奏、中部方面音楽隊による音楽演奏を始めとする多くの催し物が開かれました。また隊員による模擬売店には行列ができるほどの賑わいでした。

当日は、穏やかな晴天に恵まれ近隣の多くの方々が来場され、満開の桜をバックにして記念撮影をするご家族など、一般の方々が普段入門できない伊丹駐屯地の桜を眺めながらのひと時を過ごしました。



来場者で賑わう伊丹駐屯地「桜通り」

近畿中部防衛局への主な来訪者（2月～3月）

2月8日

兵庫県加西市 西村市長 挨拶

2月29日

京都府精華町 松尾前副町長、大植副町長 挨拶



なるほど防衛豆知識

質問：海上自衛隊の潜水艦部隊とは？

回答：

海上自衛隊の潜水艦部隊としては、自衛艦隊に所属する潜水艦隊があります。

潜水艦隊は司令部を神奈川県横須賀市に置き、広島県呉市と神奈川県横須賀市をそれぞれ基地として潜水艦を運用する潜水隊群と、隊員の教育を行う部隊として練習潜水隊、潜水艦教育訓練隊（いずれも呉市に所在）により編成されています。

潜水艦隊には現在17隻の潜水艦と、2隻の潜水艦救難艦（母艦）が所属しています。潜水艦隊が保有する潜水艦のうち、現在最も隻数が多く主力となっているのが「おやしお」型潜水艦です。また、平成21年度以降就役しているのが最新鋭の「そうりゅう」型潜水艦であり、さらなる能力の向上が図られています。

潜水艦部隊はアメリカから潜水艦「くろしお」が貸与された昭和30年（1955年）に発足しました。さらに昭和35年には戦後初の国産潜水艦「おやしお」（初代）が就役、以後着実に部隊の整備を進め、昨年8月で60周年を迎えました。

昨年には帝国海軍時代を含めると日本が潜水艦を運用してからちょうど100年となることから、日本郵便（株）南関東支社から記念切手が発売されています。



日本郵便から発売されている記念切手
（日本郵便（株）HPより）



「おやしお」型潜水艦（海上自衛隊 HP より）



「そうりゅう」型潜水艦（海上自衛隊 HP より）

■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動などを皆様にお知らせしていきたいと考えております。

本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

（住所）

〒540-0008

大阪市中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

（電話・FAX）

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

（メールアドレス）

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局広報誌近畿中部は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先

TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2016年3/4月号（通算第41号）

平成28年4月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953

URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。